

防災に「も」強いまち：黒潮町展

～地区防災計画学会第3回大会・特別企画～

本当に防災に強いまちとは、どのようなまちでしょうか。

堤防や避難タワー、避難道が完備された町が、本当に防災に強いまちと言えるでしょうか。住民の生活に浸透した、実用性のある防災が備わったまちとは、防災に（のみ）強いまちなのではなく、まちの魅力や住民のかけがえのない日常生活と防災が両立した防災に「も」強いまちではないでしょうか。全町で地区防災計画を精力的に推進している黒潮町も、「対策ではなく、思想をつくる」とのキャッチフレーズのもと、防災・減災対策一辺倒の計画ではなく、地区や町を元気にするための施策を、それぞれの地区の魅力や個性を生かした取り組みを推進しています。

地区防災計画学会第3回大会では、こうしたユニークなアプローチの一端を来場者の皆様に知っていただきたくため、『防災に「も」強いまち：黒潮町展』と題した特別企画展を開催いたします。

本展示では、砂像作りの実演や黒潮町民が作った災害にまつわる和歌や絵画の作品、防災備蓄と町の特産として黒潮町が開発した缶詰などを展示し、黒潮町の自然、海とのつきあい方を来場者の皆様にお伝えいたします。

日時：2017年3月4日（土曜）9：30～18：20

場所：京都大学宇治キャンパス・きはだホールホワイエ

費用：無料（予約不要）

連絡先：京都大学防災研究所 巨大災害研究センター（0774-38-4273）

写真：高知県幡多郡黒潮町佐賀漁港

